

世の中の色々な分野で、改めて物事のスピード感について考えさせられます。

### コロナ禍によるもう一つの「負」の側面

それにしても、今月8日からようやく感染症分類も5類へ移行する段階に入りましたが、国内では、マスク一つをみても一向にコロナを乗り越えたという空気感が感じられません。実際、個人の判断に委ねられることなのでしょうが、あまりにも日本人社会は世間と違いますか、周囲の様子を忖度し過ぎではないかと映ります。

既に、諸外国は昨年に感染者数等の統計発表を終了し、実質上コロナ禍卒業と言えます。

先月位からインバウンド旅行客が急増し、マスクをしない外国人が結構見受けられますが、マスクの着脱も「外圧」に頼らざるを得ないのかと、国内のスピード感を大いに疑います。

### AIの質的变化の加速

昨今、チャット GPT なる情報サービスが登場し世界を席卷する勢いでユーザーを増やしています。まだ、実態はよく理解できていませんが、グーグルの単語等の情報検索に対して、こちらは対話形式で瞬時に応答できる、驚異的なパワーを持ち合わせています。

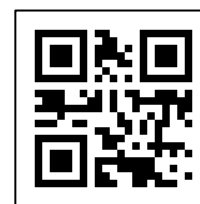
これが普及すると、例えば、多くのマンパワー処理業務がとって代わられる可能性があり、これを脅威と見るか、有力なツールと見るかで、企業や社会の未来が大きく変わりそうです。

企業も人も、環境変化にどれだけ即応・順応できるか、考えようによっては面白い時代に突入しつつあり、正・負の側面をバランスよく考えて未来を先取りしたいものです。

### < 5月の送付物 >

- ① 日本一明るい経済新聞 5月号
- ② ビープラッツプレス 最新号
- ③ 年会費ご納入のお願い (該当者のみ)
- ④ 「第60回 明るいセミナー」 ちらし

明るいシステム倶楽部の  
ホームページへようこそ  
QR コード



### < 5月以降の主な活動予定 >

5/6(土) 気楽な ZOOM サロン(30)	当倶楽部会員専用の交流の場です	20:00~21:30
5/17(水) 役員会議(35)	「令和5年度の事業活動計画の検討」	13:30~14:45
5/17(水) 明るいシステム検討会議(18)	「AKS 認証企業への活動状況ほか」	15:00~16:15
6/9(金) 第60回 明るいセミナー	大阪産業創造館4階 イベントホール	14:00~16:30
<b>AKS 市民大学 (ZOOM 形式)</b>		
5/12(金) 菊池教室(28)	「感性を育む和学講座」	20:00~21:30
5/23(火) 柴原・松居教室(21)	「みんなで考える明るい職場」	20:00~21:30
5/27(土) 宮崎教室(32)	「あっ！と驚く問題解決法」	20:00~21:30

**ソロ活－おひとりさまで生きる**

**「明るく・より良く生きるためのソロ活」と「法的武装講座」  
勉強会 その2.**

黒田 能弘(くろだ・よしひろ)

去る3月31日、久しぶりに「選抜高校野球」を観戦したく、ひとりで甲子園に行ってきました(夏はほとんど毎年行っているのですが・・)。準決勝の報徳学園と大阪桐蔭、地元ですから両校の応援です。アルプス席は当日券が売り切れとのことで、奮発して一塁側の内野指定席(3,400円)でした。

やはり、テレビとは違い迫力があります。選手が間近に見られます。わたしの興味は試合もさることながら、両校の応援を観るのが好きなのです。ことに、三塁側を正面に観る席でしたので、報徳のメガホンを持つての「アゲアゲホイホイ」という片足を上げるあの応援はとっても迫力があり、「地鳴り」のようでした。当日は、外野席でもこの「アゲアゲホイホイ」が演じられ、大応援団でした。ご覧になったことがおありでしょうか? よろしければ、「You Tube Y9ちゃんねる」でもご覧ください。

◇わたしは、いまどきの高校生が一所懸命、在学する自校の応援をする姿を観るのが大好きなのです。「若さのエネルギー」をもらってくるのです。冬には「高校ラグビー」を観に花園に行きます。ここでは、「押せ〜! 走れ〜! 倒せ〜!」といった選手のお母さん方の絶叫に近いその応援ぶりは、感動しますよ。

さあ、わたしたち壮年者にとって新学期の始まりです。「元氣元年4月1日」とします。

それは、お互いにこれからの10年・20年を「どう考え・どう生き・どう逝くのか」ということがテーマです。別に硬い話だけではありません。

なぜ冒頭に長々と甲子園行きのお話を紹介させていただいたのかと言いますと、これがわたしの「ソロ活－おひとりさまで生きる」の一部と考えるからです。つまり、加齢と共に生活や生き方が内向きになり、思考が停止するのを怖れ、「とにかく動く!とにかく感動する!!」をモットーに、ひとりで出かけることが大事と自分に言い聞かせているのです。それが、壮年者の心・身ともに活性化であり、脳の前頭葉に刺激を送ることと、歩いて大腿四頭筋を鍛えることが、生涯にわたっての「攻めの養生」と心得ているからです。

さて、その1時間目です。わたしの自己紹介を兼ねて、62歳より始めたNPO法人で、どんな業務をやっているのかについて簡単にお話しします。

わたしたち「NPO法人高齢者・障がい者後見人の会」の主な支援業務は次の通りです。

1. 遺言公正証書による遺言執行人(相続、遺産分割、事業承継、寄付など)で、遺言の内容を確実に執行する者です。「公証役場」で契約します。
  2. 認知症に係る高齢者や親なき後の障がい者の成年後見制度による後見人。
- 以下、3. 4. については紙面の都合上、次回にお話しさせていただきます。

“いい呼吸”を広める呼吸道場 代表 兼  
NPO法人高齢者・障がい者後見人の会 代表

◆西国三十三所札所巡り旅 (10) 西国 第9番札所 南円堂

興福寺「南円堂」(奈良県奈良市)

本尊：不空羂索観世音菩薩

阿久根 芳臣

行程：大阪市内から 32 km (阪高、第二阪奈道、国道 163 号)

興福寺から南山城村道の駅 27 km (柳生街道～京都いづみチャーミングロード)

今回は奈良公園の興福寺境内の「南円堂」であるので馴染みはある。大阪市内の小学生は春と秋の遠足は昔からバスで手軽に来ることが出来たのでこの辺りは定番だった。

興福寺の南側に着くと猿沢池の東側へちょっと行った処に”興福寺第1駐車場”がある。2時間～5時間で1500円とちょっとお高いが市街地のど真ん中なのでしょうがない。左手に猿沢池を見ながら三条通の坂をゆっくり徒歩で下り、右手の石段を60段ほど上がると寺域に入る。北円堂、東金堂、五重塔と国宝が続き、目的の重文「南円堂」に至るがとにかく境内は広い。さて南円堂にお参りして、観音巡礼の目的を果たすと気分も晴れやかになる。時間もたっぷりなので今日のもう一つの目的地である「京都・村の茶そば」を食すべく南山城村の「道の駅」へ向かう事とする。大阪市内から奈良のここまで車で40分掛かったが南山城村までは地道なので更に40分掛かることになるが食欲に勝るものはない。

春日山を西側からぐるっと回って柳生街道を東に向かうが、この地道はさながら”ダンプ街道”の様相で前日からの雨のせいもあって車の下廻りはドロドロだ。妻が「どうせ私が洗わされるんだわ!」とばかりにチラチラと視線を送ってくるのが左半身に刺さって痛い。確かに手洗い洗車は骨が折れる。笠置町あたりで木津川沿いに走る“京都いづみチャーミングロード”(国道163号)に合流する。地道の40分は結構長く感じたが、昼過ぎには”道の駅”に着いた。景勝地「宇治・和東の茶畑」にも近くJR関西本線月ヶ瀬口駅の直ぐ際だ。

右の写真上段はテレビ放映されたもので、光沢がありとても美味しそうだが照明の違いか?

色彩加工されているのか?下の私の撮ったものと蕎麦の色が違い過ぎるのはご愛嬌だが、味は申し分なかった。

帰りは西名阪道で帰ってきたが懸念された天理IC手前の難所“五ヶ谷”の急な下り坂もテスラのオートパイロットは上手く作動してくれ安心した。



実際に注文して出てきた茶そば



三条通から上がる石段



国の重要文化財「南円堂」





## 準備の大切さ

高村 和義

私たち明るいシステム倶楽部も「明るいセミナー」を年間3～4回、大阪産業創造館4階のイベントホールで長年開催しています。過去に通算50回以上運営してきましたが、毎回運営では若干の緊張を伴います。少しでも参加された皆様楽しんでもらえればという思いで臨んでいますが、やはり運営において時には小さな綻びも出てまいります。

それでも、こうしたことを如何に克服するか、常に事前の準備として状況を予想し、どう適切な対応ができるか、歴代スタッフの努力の積み重ねの中、微力ながら考えてきました。

少し長くなりますが、その具体的な準備内容についてご参考までにお話したい。

1. 明るいセミナーの開催の主眼は何かを改めて問いかける。
  - ・この点に相応しい企業トップにご登場願ひ、竹原編集長の巧みなインタビューにより、その企業の明るく元気な側面を具体例で引き出していただく。
  - ・参加者の皆様には、心に響き、参考になることを一つでも持ち帰っていただき、次回の参加に繋がるような余韻が残る内容になればと思う。
2. 上記の円滑な運営へ向け、物的、人的に諸準備を整える。中でもチームワークは大切。
3. 適切な時間管理を行う。
  - ・1年～1か月前および開催1週間前の準備、当日の再確認など、結構多岐にわたる内容があり、これらをリストアップして事前に作業内容や確認項目等を整理しておく。
  - ・会合が開始されたら、進行スケジュールに基づき、柔軟に運営管理していく。
4. これらを時系列で把握・対応できるように、スケジュール一覧表を整備しておく。
5. また、開催会場の全体把握と各スタッフの役割分担を明確化するため、会場レイアウト（役割分担内容を明記）を用意し、事前に相互確認する。
6. 個別の当日打合せ；手分けして進める。
  - ・社長、編集長及び理事長の最終打合せ                      ・司会者との調整
  - ・会場内のスタッフとの相互再確認                                  ・受付及び会場まわりの再確認 等
7. 想定外への対応；全体総括者、受付総括者、司会者等を中心に迅速に対応する。

特に申し上げたかったのは、よく言われる「段取り八分、仕事二分」という準備（段取り）の大切さであり、物事が順調に進むかの成否は、ほぼ準備次第と改めて感じています。

勿論、完璧な結果ばかりを期待できませんが、大小問わずミスは相当減ると実感します。こんなことを書いてしまうと、次回からは愈々失敗できませんね。（笑）

ここで、イチロー氏の準備に対する姿勢について、改めて少し触れたいと思います。

イチロー氏の徹底ぶりには、内容を知った当時からとても新鮮な驚きでした。

児玉光雄氏の著書「イチロー流 準備の極意」から、その極意の幾つかを引用します。

1. 結果は本番前に決まっている。
  - ・「大切なことは、試合前に完璧な準備をすること」と言う。
2. 準備とは「言い訳を排除する」こと
  - ・「考え得る全てのことを事前にこなしていく」とのことです。
  - ・イチロー氏は、試合での失敗や不調の場合、一切言い訳せず、常に準備行為を習慣化して次へ繋がる方法を徹底的に模索しているように思いました。



最後に余談ながら、個人の場合とチームプレーの場合では状況が異なるかもしれませんが、考え方についてはご参考になる点もあろうかと思い、敢えてご紹介いたしました。